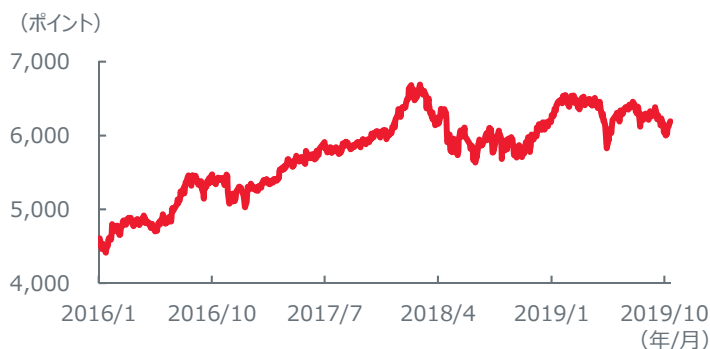


(対象期間：2019/10/14～2019/10/18)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年10月18日)

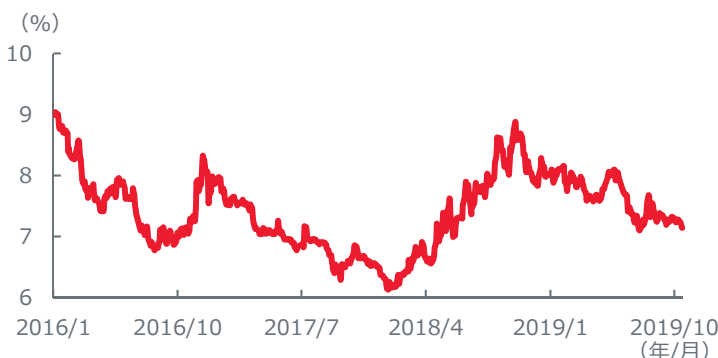


【株式市場】

インドネシア株式市場は上昇しました。24日の金融政策決定会合での利下げ観測の高まりから不動産株などが堅調に推移しました。また一部の食品株が、政府による鶏肉価格の管理についての発表を受け堅調となりました。セクター別では、基礎産業・石油化学、金融などが上昇した一方で、消費財や鉱業などは下落しました。20日にジョコ大統領の2期目の就任式が行われました。任期は5年で最後の任期となります。21日に予定されている新閣僚の発表が注目されます。

2019/10/11	2019/10/18	変化率
6,105.80	6,191.95	+1.41%

【債券市場】 インドネシア国債10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年10月18日)



【債券市場】

インドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。債券市場では24日の政策決定会合での利下げ観測を背景に引き続き外国人投資家からの資金流入が見られ、堅調に推移しました。15日に行われたイスラム国債の入札は短期債を中心に好調となりました。

2019/10/11	2019/10/18	変化幅
7.247	7.141	-0.106

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年10月18日)



【為替市場】

ルピアは前週末比で対米ドルではほぼ変わらず、対円では米中通商協議の進展期待や、英国と欧州連合（EU）が英国のEU離脱条件の修正で合意したことなどから、リスク回避姿勢が後退しルピア高となりました。15日に発表されたインドネシアの貿易収支は、輸入の増加を背景に市場予想に反して再び小幅の赤字となりました。発表後、ルピアはやや下落しましたが、債券市場への外国人投資家からの堅調な資金流入を背景に小幅下落にとどまりました。

2019/10/11	2019/10/18	変化率
0.7656	0.7678	+0.29%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。